

令和4年度学校推薦型選抜 小論文課題

〔設問〕

次の文章を読んで、「目の高さを合わせる」ことの重要性について、具体的な例を挙げてあなたの考えを800字以内で述べなさい。

身長百五十センチの私はめったにそういうことはないのですが、たまに、話す相手の視線が私より低いところにある場合があります。そういうときは、あえて相手の視線の高さに自分の視線を落とすようにします。

仕事を始める以前、私立小学校の図書室でアルバイトをしていたことがあります。

「おねえさん、この本、どういうお話？」

二年生がそばに来て、私を見上げて恐る恐る質問してきたら、私は即座にその場に座り込み、その小学生と同じ目の高さに揃えるようにしました。なぜそんなことをしたか。自分でもよくわからないのですが、そうするほうが、その子供の身体、声、そして気持ちにぐっと近づけるような気がしたし、実際、高いところから話をするよりも、子供と仲良くなれる実感があったからでしょうか。

(中 略)

ことに自分がインタビューをする立場にあるときは、できるだけ相手の視線より高いところから聞かないようにしなくてはならないでしょう。逆に言えば、少し下から尋ねると、なんとなく相手は、「あ、この人は謙虚な人なんだな。自分に危害を加える恐れはなさそうだな」と安心し、緊張せずに話してくれるのではないのでしょうか。

【阿川佐和子『聞く力 心をひらく35のヒント』より抜粋】